



平成26年8月8日

各位

株式会社T&Dホールディングス
 (コード番号 8795 東証第一部)
 太陽生命保険株式会社
 大同生命保険株式会社
 T&Dフィナンシャル生命保険株式会社

平成27年3月期第1四半期決算のお知らせ

T&D保険グループ(T&Dホールディングス、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命)の平成27年3月期第1四半期(平成26年4月1日~平成26年6月30日)の決算について、以下のとおりお知らせいたします。

契約業績(生命保険会社3社合算:個人保険・個人年金保険)

- 新契約高は、1兆9,344億円、前年同期から11.3%の増加。
- 解約失効高は、9,578億円、前年同期から7.2%の減少。
- 保有契約高は、59兆9,454億円、前年度末から0.7%の増加。

損益関係(T&Dホールディングス連結)

- 経常収益は、5,872億円、前年同期から12.4%の増加。
 うち保険料等収入は、4,838億円、前年同期から24.2%の増加。
- 経常利益は、463億円、前年同期から1.5%の減少。
- 四半期純利益は、269億円、前年同期から22.7%の増加。

通期業績予想

- 通期業績予想の修正はありません。

以上

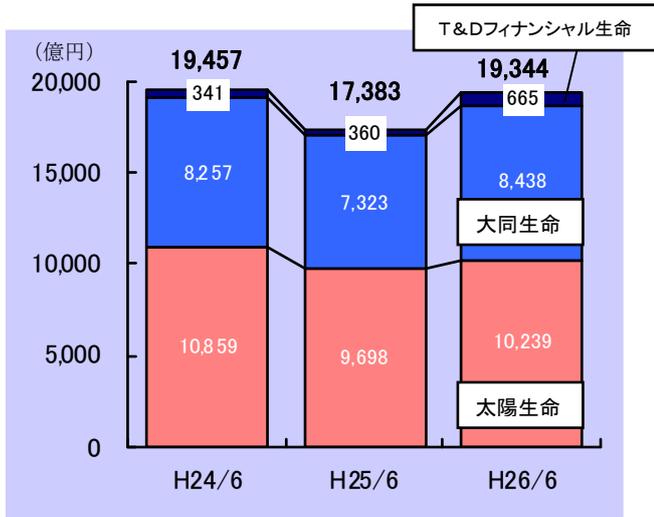
【お問合せ先】

株式会社T&Dホールディングス	広報部	佐藤・今井	TEL 03-3434-9181
太陽生命保険株式会社	広報課	松島	TEL 03-3434-5257
大同生命保険株式会社	広報課	西岡	TEL 03-3434-9190
T&Dフィナンシャル生命保険株式会社	広報課	進藤	TEL 03-3434-8840

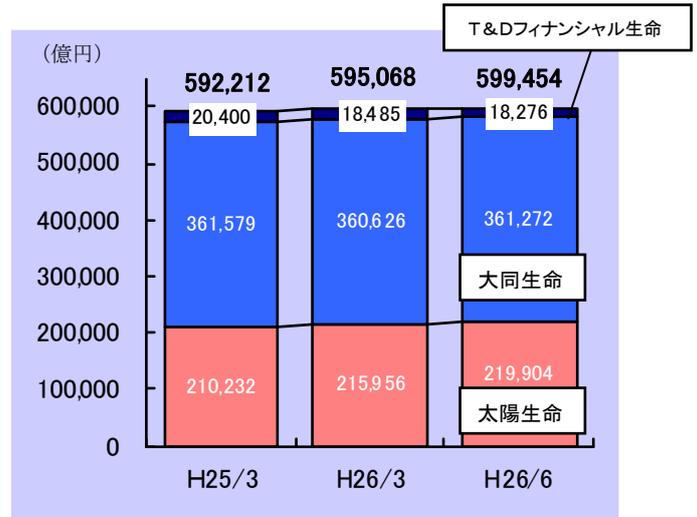


〔契約業績（個人保険・個人年金保険）〕

○新契約高の推移（3社単純合算）



○保有契約高の推移（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比
新契約高	19,344	1,960 増 (11.3%増)	10,239	540 増 (5.6%増)	8,438	1,115 増 (15.2%増)	665	304 増 (84.5%増)
解約失効高 (解約失効率)	9,578	742 減 (7.2%減)	3,369 (1.56%)	62 増 (1.9%増) (0.01ポイント低下)	5,948 (1.65%)	617 減 (9.4%減) (0.17ポイント低下)	260 (1.41%)	188 減 (41.9%減) (0.79ポイント低下)
新契約年換算保険料	394	100 増 (34.3%増)	158	40 増 (34.5%増)	180	35 増 (24.2%増)	55	24 増 (81.9%増)
うち医療保障・ 生前給付保障等	47	5 増 (13.4%増)	23	3 増 (19.4%増)	23	1 増 (7.9%増)	0	0 増 (64.5%増)

(注) 1. 新契約高には転換による純増加高を含んでおります。
2. 解約失効率は、年換算しておりません。

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比
保有契約高	599,454	4,385 増 (0.7%増)	219,904	3,947 増 (1.8%増)	361,272	646 増 (0.2%増)	18,276	208 減 (1.1%減)
保有契約年換算保険料	14,261	56 増 (0.4%増)	6,407	52 増 (0.8%増)	6,549	60 増 (0.9%増)	1,305	56 減 (4.1%減)
うち医療保障・ 生前給付保障等	1,646	12 増 (0.8%増)	981	1 増 (0.2%増)	631	11 増 (1.9%増)	32	0 減 (2.9%減)

■ 3社単純合算

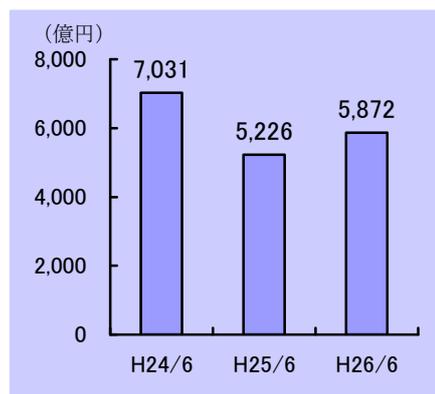
- ・新契約高は、1兆9,344億円、前年同期から11.3%の増加。
- ・解約失効高は、9,578億円、前年同期から7.2%の減少。
- ・保有契約高は、59兆9,454億円、前年度末から0.7%の増加。

■ 各社の状況

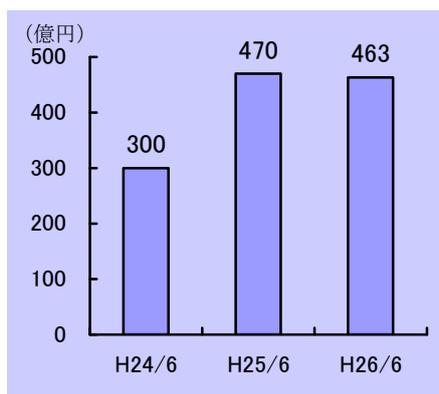
- ・太陽生命の新契約高は、1兆239億円、前年同期から5.6%の増加。
これは主に、主力商品の「保険組曲Best」の販売増加による。
また、保有契約高は、21兆9,904億円、前年度末から1.8%の増加。
- ・大同生命の新契約高は、8,438億円、前年同期から15.2%の増加。
これは主に、主力商品である定期保険の販売増加による。
なお、主力商品の一つである「Jタイプ※」の新契約高は1,136億円となり、前年同期から11.2%の増加。
これを加算した新契約高は9,575億円となり、前年同期から14.7%の増加。また、同じ基準でみた保有契約高は、37兆4,128億円となり、前年度末から0.4%の増加。
※「Jタイプ（無配当重大疾病保障保険）」は普通死亡の保障がないため、重大疾病保険金額は上表の新契約高・保有契約高には計上していません。
- ・T&Dフィナンシャル生命の新契約高は、665億円、前年同期から84.5%の増加。これは主に、一時払終身保険の販売増加による。
解約失効高は、260億円、前年同期から41.9%の減少。これは主に、変額個人年金保険の解約減少による。

[損益関係]

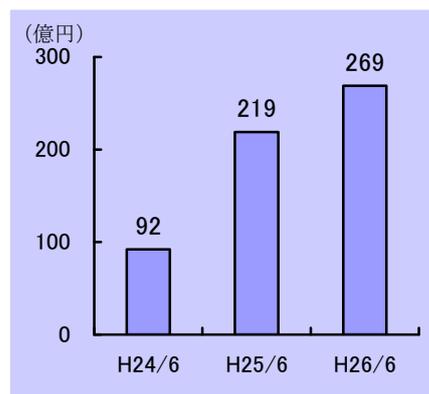
○経常収益（連結）



○経常利益（連結）



○四半期純利益（連結）



(単位：億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比
経常収益	5,872	645 増 (12.4%増)	2,839	447 増 (18.7%増)	2,192	59 増 (2.8%増)	950	273 増 (40.4%増)
うち保険料等収入	4,838	942 増 (24.2%増)	2,390	517 増 (27.7%増)	1,793	129 増 (7.8%増)	648	293 増 (82.5%増)
うち資産運用収益	824	253 減 (23.5%減)	412	30 減 (7.0%減)	355	47 減 (11.8%減)	89	152 減 (62.9%減)
うち利息及び配当金等収入	686	10 減 (1.5%減)	374	4 増 (1.2%増)	299	16 減 (5.2%減)	18	1 増 (7.3%増)
うちその他経常収益	210	42 減 (16.8%減)	36	39 減 (51.7%減)	44	22 減 (33.6%減)	211	132 増 (168.7%増)
経常費用	5,408	653 増 (13.7%増)	2,676	487 増 (22.2%増)	1,952	21 増 (1.1%増)	891	277 増 (45.2%増)
うち保険金等支払金	3,839	189 増 (5.2%増)	1,785	29 増 (1.7%増)	1,209	145 減 (10.7%減)	841	304 増 (56.7%増)
うち責任準備金等繰入額	811	628 増 (343.6%増)	539	466 増 (637.0%増)	413	273 増 (195.6%増)	0	0 減 (10.2%減)
うち資産運用費用	80	157 減 (66.3%減)	57	11 増 (24.4%増)	40	105 減 (72.5%減)	10	40 減 (79.3%減)
経常利益	463	7 減 (1.5%減)	162	39 減 (19.4%減)	240	37 増 (18.6%増)	59	3 減 (6.0%減)
特別利益	1	1 増 (1506.9%増)	1	1 増 (—)	—	—	—	—
特別損失	12	49 減 (80.4%減)	6	18 減 (72.5%減)	4	30 減 (86.3%減)	0	0 減 (75.0%減)
契約者配当準備金繰入額 (△戻入額)	75	4 増 (6.8%増)	42	0 増 (2.2%増)	32	3 増 (13.5%増)	△0	0 増 (60.1%減)
税引前四半期純利益	377	38 増 (11.4%増)	114	20 減 (15.2%減)	203	63 増 (45.8%増)	58	2 減 (4.8%減)
法人税等合計	107	11 減 (9.5%減)	32	12 減 (27.8%減)	54	1 増 (3.8%増)	18	0 増 (1.1%増)
四半期純利益	269	49 増 (22.7%増)	81	7 減 (8.8%減)	148	61 増 (71.1%増)	40	3 減 (7.3%減)

(参考)

資産運用関係収支 (一般勘定)	684	78 増 (12.9%増)	354	42 減 (10.6%減)	310	61 増 (24.5%増)	25	59 増 (—)
--------------------	-----	------------------	-----	------------------	-----	------------------	----	-------------

- (注) 1. T&Dホールディングス連結の数値については、生命保険会社3社の単純合算とは必ずしも一致いたしません。
 2. 保険料等収入の3社単純合算は4,832億円（前年同期比24.2%増）です。
 3. 特別損失（12億円）のうち、11億円は価格変動準備金への繰入です。（太陽生命：6億円、大同生命：4億円、TDF生命：0億円）
 4. 資産運用関係収支（一般勘定）は、一般勘定に関する資産運用収益から一般勘定に関する資産運用費用を差し引いたものです。

■ T & Dホールディングス連結

- ・ **経常収益**は、5, 872億円、前年同期から12.4%の増加。
これは主に、3社の保険料等収入が増加したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、4, 838億円、前年同期から24.2%の増加。
- ・ **経常利益**は、463億円、前年同期から1.5%の減少。
- ・ **四半期純利益**は、269億円、前年同期から22.7%の増加。

■ 太陽生命の状況

- ・ **経常収益**は、2, 839億円、前年同期から18.7%の増加。
これは主に、個人年金保険および終身生活介護年金保険の保険料等収入が増加したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、2, 390億円、前年同期から27.7%の増加。
- ・ **経常利益**は、162億円、前年同期から19.4%の減少。
これは主に、有価証券売却益が減少したことによる。
- ・ **四半期純利益**は、81億円、前年同期から8.8%の減少。

■ 大同生命の状況

- ・ **経常収益**は、2, 192億円、前年同期から2.8%の増加。
これは主に、主力の定期保険・Jタイプおよび一時払終身保険の保険料が増加したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、1, 793億円、前年同期から7.8%の増加。
- ・ **経常利益**は、240億円、前年同期から18.6%の増加。
これは主に、資産運用関係収支の増加による。
- ・ **四半期純利益**は、148億円、前年同期から71.1%の増加。
これは主に、経常利益の増加、特別損失の減少による。

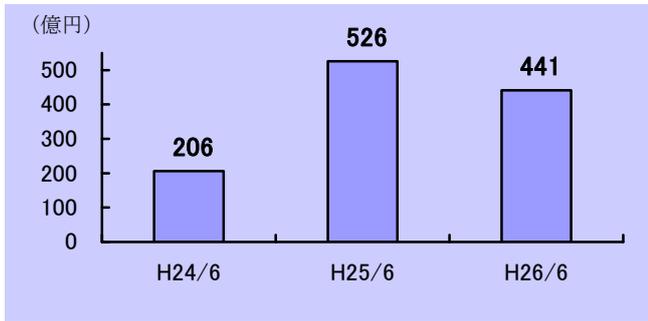
■ T & Dフィナンシャル生命の状況

- ・ **経常収益**は、950億円、前年同期から40.4%の増加。
これは主に、一時払終身保険の保険料等収入が増加したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、648億円、前年同期から82.5%の増加。
- ・ **経常利益**は、59億円、前年同期から6.0%の減少。
- ・ **四半期純利益**は、40億円、前年同期から7.3%の減少。

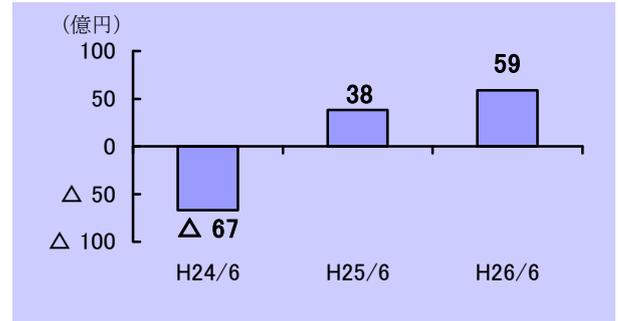
[その他の指標等]

<基礎利益と順ざや・逆ざや>

○基礎利益（3社単純合算）



○順ざや・逆ざや額（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期末	前年同期比	当第1四半期末	前年同期比	当第1四半期末	前年同期比	当第1四半期末	前年同期比
基礎利益	441	84 減 (16.1%減)	170	8 増 (5.1%増)	250	14 増 (6.4%増)	21	108 減 (83.6%減)
順ざや額 (負値の場合は逆ざや額)	59	20 増	30	15 増	36	6 増	Δ7	1 減

■ 3社単純合算

- ・基礎利益は、441億円、前年同期から84億円の減少。

■ 各社の状況

- ・太陽生命の基礎利益は、170億円、前年同期から8億円の増加。
順ざや額は、30億円、前年同期から15億円の増加。
これは主に、基礎利益中の運用収支の増加による。
- ・大同生命の基礎利益は、250億円、前年同期から14億円の増加。
順ざや額は、36億円、前年同期から6億円の増加。
これは主に、基礎利益中の運用収支の増加による。
- ・T&Dフィナンシャル生命の基礎利益は、21億円、前年同期から108億円の減少。
これは主に、変額個人年金保険の最低保証責任準備金戻入額の減少による。
逆ざや額は、7億円、前年同期並み。

<ソルベンシー・マージン比率>

	T&Dホールディングス		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率	—	—	1,042.9%	61.6pt 上昇	1,263.3%	106.9pt 上昇	1,127.9%	76.7pt 上昇
連結ソルベンシー・マージン比率	1,197.6%	82.6pt 上昇	1,050.9%	61.9pt 上昇	1,271.3%	107.4pt 上昇	—	—

(注) T&Dフィナンシャル生命は、子会社等がないため、連結ソルベンシー・マージン比率を表示しておりません。

■ T&Dホールディングス連結

- ・連結ソルベンシー・マージン比率は、1,197.6%。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命のソルベンシー・マージン比率**は、1,042.9%、前年度末から61.6ポイント上昇。
これは主に、四半期純利益の計上、その他有価証券の評価差額の増加による。
- ・ **大同生命のソルベンシー・マージン比率**は、1,263.3%、前年度末から106.9ポイント上昇。
これは主に、四半期純利益の計上、その他有価証券の評価差額の増加による。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命のソルベンシー・マージン比率**は、1,127.9%、前年度末から76.7ポイント上昇。
これは主に、変額個人年金保険の運用期間満了等に伴い最低保証リスクが減少したことによる。

<実質純資産>

(単位：億円)

	T&Dホールディングス(連結)		太陽生命(単体)		大同生命(単体)		T&Dフィナンシャル生命(単体)	
	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比
実質純資産	21,170	1,069 増	9,090	528 増	10,414	488 増	1,302	53 増

■ T&Dホールディングス連結

- ・ **連結実質純資産**は2兆1,170億円、前年度末から1,069億円の増加。
これは主に、太陽生命・大同生命で有価証券の差損益が増加したことによる。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命の実質純資産**は、9,090億円、前年度末から528億円の増加。
これは主に、有価証券の差損益が増加したことによる。
- ・ **大同生命の実質純資産**は、1兆414億円、前年度末から488億円の増加。
これは主に、有価証券の差損益が増加したことによる。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命の実質純資産**は、1,302億円、前年度末から53億円の増加。

<有価証券差損益(一般勘定)>

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比
有価証券の差損益	9,158	1,099 増	5,355	585 増	3,492	460 増	310	54 増
公社債	4,316	418 増	2,272	190 増	1,763	192 増	281	35 増
株式	2,852	320 増	1,736	180 増	1,115	139 増	—	—
外国証券	1,634	316 増	1,211	200 増	422	115 増	—	—
その他の証券	172	28 増	63	8 増	108	19 増	—	—
金銭の信託	29	18 増	—	—	—	0 減	29	18 増
買入金銭債権	153	2 減	71	4 増	82	7 減	—	—
土地等の差損益	226	0 減	13	0 減	212	0 減	—	—

(注) 1. 有価証券差損益は、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。

2. 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額(重要性の低い物件等については公示価格等)をもとに算出しております。

<市場整合的エンベディッド・バリュー (MCEV) >

(単位：億円)

	T&D保険グループ全体 (Group MCEV)		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比
MCEV	約 20,260	約 560 増	約 7,340	約 290 増	約 11,710	約 250 増	約 930	約 10 増

	T&D保険グループ全体 (3社合計)		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比
新契約価値	約 240	約 20 増	約 90	約 0 増	約 140	約 10 増	約 0	約 0 増

(注) 上記の数値は一部簡易な計算を行っており、第三者の検証は受けておりません。

■ T&D保険グループ

- ・ **Group MCEV**は、約 2 兆 2 6 0 億円と、前年度末から約 5 6 0 億円の増加。
※Group MCEV は「生命保険事業の MCEV (約 1 兆 9,990 億円)」と「生命保険以外の事業に係る純資産 (約 260 億円)」の合計額です。
新契約価値は、約 2 4 0 億円、前年同期から約 2 0 億円の増加。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命のMCEV**は、約 7, 3 4 0 億円、前年度末から約 2 9 0 億円の増加。
新契約価値は、約 9 0 億円となった。
- ・ **大同生命のMCEV**は、約 1 兆 1, 7 1 0 億円、前年度末から 2 5 0 億円の増加。
新契約価値は、約 1 4 0 億円となった。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命のMCEV**は、約 9 3 0 億円、前年度末から約 1 0 億円の増加。

[平成27年3月期通期業績予想]

○T&Dホールディングス連結

平成27年3月期の通期業績予想は次のとおりです。(平成26年5月15日公表分から変更ありません。)
(単位：億円)

	平成26年3月期実績	平成27年3月期予想
経常収益	20,857	21,700 程度
経常利益	1,862	1,490 程度
当期純利益	789	770 程度

1株当たり年間配当金予想は25円です。

なお、上記の前提となる生命保険会社3社(単体)の平成27年3月期の通期業績予想は次のとおりです。

(単位：億円)

	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
経常収益	9,000 程度	8,800 程度	3,700 程度
経常利益	600 程度	710 程度	170 程度
当期純利益	270 程度	390 程度	120 程度

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

以 上

(参考) 生命保険会社3社の平成27年3月期通期見通し

平成26年5月15日公表分から変更ありません。

(単位：億円)

	3社単純合算	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
基礎利益	1,590 程度	660 程度	890 程度	40 程度
保険料等収入	18,200 程度	7,300 程度	7,400 程度	3,500 程度
順ざや額 (負値の場合は逆ざや額)	140 程度	80 程度	90 程度	△30 程度
新契約高	65,200 程度	28,100 程度	33,300 程度	3,800 程度
保有契約高	601,100 程度	222,500 程度	360,100 程度	18,500 程度
解約失効率 (%)		5.8%程度	7.0%程度	4.6%程度

(注) 1. 新契約高、保有契約高および解約失効率は、個人保険と個人年金保険の合計です。

また、新契約高には転換による純増加高を含みます。

2. 大同生命に関して、「Jタイプ(無配当重大疾病保障保険)」の重大疾病保険金額を加算した契約高の見通しは、次のとおりです。

新契約高 : 3兆9,100億円程度

保有契約高 : 37兆6,900億円程度

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記見通しと大きく異なることがあります。

以 上